

東南アジア向け高鮮度輸出促進産地連携協議会

■取組の背景

- ▶ 鮮度を保持した水産物の迅速な輸送を行うには、輸出先における輸送環境や、衛生管理証明書等の書類の信頼性の担保が重要となっていた
- ▶ 安定的な供給のため、養殖魚も同様に衛生管理証明書等の信頼性について改善が求められていた。

■取組の目的

- ▶ 特殊保冷箱による高鮮度な水産物の輸出
- ▶ トレーサビリティ情報の電子化
- ▶ 高級商流ルートの開拓

■協議会の構成員と役割

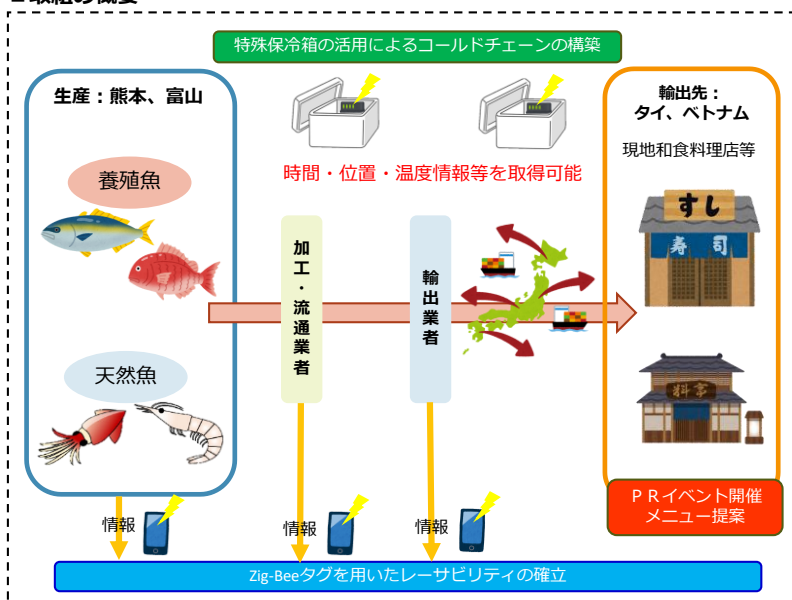
	段階	名称	具体的な取組内容
事業実施者	生産	有限会社社生丸	・養殖魚の生産
	加工流通	株式会社オーシャンプロテック	・輸出対象魚の加工・販売
	加工流通	株式会社ニシウオマーケティング	・輸出対象魚の加工・販売
	加工流通輸出	有限会社鮫河岸	・輸出業務
	輸出	有限会社ジエイズコーポレーション	・輸出業務
	システム	株式会社エム・ソフト	・ソフトウェア開発、ITシステム構築 ・製品のPR
	システム	株式会社JMFITサービス	・ITシステム構築 ・輸出オペレーション

■取組内容

- ◆漁獲から販売にいたるトレーサビリティシステムの構築**
- ✓ **ブロックチェーン技術を活用したオンライントレーサビリティシステムの構築**▶ 漁獲情報を**セキュリティの高いブロックチェーン技術**により、改ざん不可能なトレーサビリティシステムを構築
 - ✓ **トレーサビリティシステムによる水産物の高付加価値化**▶ 国の輸出拡大実行戦略の重点品目であるブリ、マダイに加え、富山県の特産であるホタルイカ、白エビの輸出を検討。これらの**水産物にトレーサビリティ情報を付加**することで、高付加価値化を図る
- ◆特殊保冷箱による鮮度が保持された輸送スキーム**
- ✓ **特殊保冷箱の導入**▶ 通常の発泡スチロールでは保冷可能期間が1日であるが、**輸送環境に対応しうる数日間保冷可能な特殊保冷箱**を開発し、特殊保冷箱を用いた輸送実証試験を実施
 - ✓ **ZigBeeタグの活用**▶ 加工・流通以降の段階におけるトレーサビリティ情報は、ZigBeeタグ（電子タグ）を活用して取得。特殊保冷箱内にZigBeeタグを設置することで、**時間・位置・温度等の情報を把握**
- ◆東南アジアにおける市場調査及び販促活動**
- ✓ **現地におけるニーズ調査**▶ **販路拡大と加工ニーズの把握**のため、東南アジアにおける市場調査を実施
 - ✓ **販売促進活動の実施**▶ 東南アジア（ベトナム、タイ）において、**高級層**をターゲットとしている現地の飲食店等に対してプロモーションを行う

物流環境に左右されないコールドチェーンの構築

■取組の概要



■取組の現状と今後の展望

- ▶ タイ、ベトナムに向けて輸送実証試験を実施。特にタイでは、販促活動の成果もあり、特殊保冷箱及びトレーサビリティのニーズが高まっており、引き合いが強い。
- ▶ 一方で、未だ特殊保冷箱の生産コストは通常の発泡と比較して高値であるため、今後はさらに特殊保冷箱に利用者を増やし、特殊保冷箱1個当たりの生産コストの低下を図る。

★本取組によって得られたバリュー★

AI・DXの活用
（付加価値向上）

ブロックチェーン技術によるトレーサビリティシステム構築

販路開拓

現地の飲食店向けプロモーションの推進